



念願叶って250組の一員として夢の舞台に立ったみなさんは、練習に練習を重ね、心地よい緊張感の中で熱唱・熱演！思い出の一場面です。



放送当日、出場するにも、参観するにも、会場入りできるキップを手にしなくてはなりません。特に夢の舞台に立つには、予選会出場への書類選考があります。その出場枠250組には、717組もの希望者があり、前日の予選会を経て、20組が生演奏バックに歌唱力を披露しました。また、観覧希望にも、2619通もの申し込みがあり、こちらも7.9倍の難関でした。

1946年の放送開始以来、60年以上続く長寿番組は、人気の視聴者参加型の公開歌番組で、本市でも開催が決まった当初から話題沸騰。予選会や放送当日、舞台に立ち、貴重な経験をされた方はもちろん、会場で応援や観覧した方は、その場の醍醐味や臨場感を堪能されていました。また、テレビでご覧になった方々も『佐賀県多久市』からの放送に「よかった」や「うれしかった」と感動され、懐かしく故郷を慕う方々も多かったことでしょう。



たくさんのおみなさんのご協力ありがとうございました。多久聖廟創建300年記念行事は、このNHKのど自慢で完結しますが、この節目は過去から未来へつながる中継点です。この1年、多久聖廟創建の思いで知った敬いの心や学びの大切さを私たちの心や生活に生かし、「孔子の里」の新しい風を未来につなげましょう。



■生放送のテレビを通し、自慢の歌声を披露された20組のみなさんや司会の徳田章アナウンサー（前列左から2人目）、麟尾市長

■放送前日、会場となった北部小学校体育館で行われた予選会の様子。この日も会場は満席でした